

④胃体上部後壁（分水嶺）



<https://kotobukimedical.com/esd-training/G-master/setting/>

セッティングの手順を動画でもご覧いただけます。



④胃体上部後壁(分水嶺)セッティング完了イメージ

- ・はじめに、【X チューブ左右】を0位置に戻してからセッティングするとスムーズです。
- ・【Z チューブ上下】調整の際、指を挟まないようご注意ください。

記号	箇所名	位置番号											
		SET	1 (直線)		2 (曲面)		S : 1 (送気) ⇔ 2 (脱気)						
R	粘膜保持アーム右	SET	1 (直線)		2 (曲面)		S : 1 (送気) ⇔ 2 (脱気)						
L	粘膜保持アーム左	SET	1 (直線)		2 (曲面)		3 (脱気)						
A	垂直回転位置	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
B	水平回転位置	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
Y	チューブ前後		+20	+10	0	-10	-20	-30	-40	-50			
X	チューブ左右	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	
			110	120	130	140	150	160	170	180	190	200	210
Z	チューブ上下	0	10	20	25	30	35	40	45	50	60	70	80
W	チューブ角度	-20	-10	0	5	10	15	20	25	30	35	40	40
M	ヘラ差込み位置	無し	1	2	3	4	5						
	背面ゴム紐	無し	有り										